

令和5年度羽田空港の機能強化に関する都及び関係区市連絡会 分科会（第2回）

会議の概要

- 会議名 令和5年度羽田空港の機能強化に関する都及び関係区市連絡会 分科会（第2回）
 - 開催日 令和5年9月1日（金曜日）
 - 出席状況 東京都、港区、新宿区、江東区、品川区、目黒区、大田区、渋谷区、中野区、豊島区、北区、板橋区、練馬区、江戸川区、国土交通省
 - 議事の要旨
 - * 国土交通省より、騒音測定結果や部品欠落報告等についての説明
-

【主な意見及び国の回答等】

- ・ 15時から19時における南風運用について、1時間あたり最大で90回程度の離発着があるが、現時点で最大どれくらいの割合で運用されているのか。
⇒月によって変動があるものの、概ね100パーセントとなっている。5月においては約98パーセント、6月は約96パーセントである。例えばC滑走路であれば1時間あたり30機程度が目安となっているが、28～30機程度が飛んでいることになる。
- ・ 羽田小学校の小型機の推計平均値について、説明会段階での推計平均値が72デシベルであるが、5月において昨年が73.3デシベル、今回は74.0デシベルとなっている。今後どのような傾向になると想定されるか。
⇒今後の推移は、機材構成が大きな要因となってくる。コロナ禍からの復便により、低騒音機以外の機体がどれくらい運航するのか、機材構成の変化を注視していく必要がある。今後の傾向について、現時点で予測することは難しい。
- ・ 田道小学校の騒音測定結果について、中型機、小型機が推計平均値を上回っている。復便による機材構成の変化を注視していくとのことだが、具体的にどのようなことを行っていくのか。
⇒田道小学校については、5月において77から79デシベル相当と、大き目の音が出ているが、これは特異音が影響している可能性がある。原因について断定は難しいが、特に機体構成がポイントになってくると考えているので、引き続き注視していく。
- ・ 資料4の全体総括の中に、以前は「復便の状況を鑑みて注視していく」という趣旨の記載があったが、現在は復便も進んだため、文言を削除していると理解しているが、騒音に関

する内容は都民の関心も高いため、復便による機材構成の変化についてもなるべく早い段階で見解を公表いただきたい。

- ・ Lden について、全測定局で環境省の定める環境基準を満たしているとのことだが、Lden は通年の測定結果にて評価をするものと理解している。今回の資料は6月までの測定結果であるが、どのように計算して環境基準を満たしているか判断できるのか。

⇒環境省の定める航空機騒音に係る環境基準では、評価は1年間のうち代表する1週間を連続測定し、1日毎のLden値を7日間で平均することで評価するとされている。今回は5月と6月の2箇月間の測定結果を基に評価しているが、環境基準で定める測定期間である1週間に比べ長い期間測定しているところ、その場合、当該期間における測定結果を基にLdenを算出し、環境基準を満たしているか確認することとなる。資料については、1月単位で区切り、各月ごとのLdenを記載している。

- ・ 航跡図の一部に欠損があったとのことだが、仮に、ホームページ上で公開しているシステムで航跡図を作成した場合、5月と6月の航跡は想定ルートを大きく逸脱していないと理解して良いのか。

⇒ホームページに公開している管制用のレーダーからデータを取得しているシステムで確認したところ、大きな逸脱や航空安全上問題のある航跡は確認できなかった。

- ・ 部品欠落について、新飛行経路下における落下物ゼロを維持していることについて敬意を表す。また、次回の固定化回避検討会について、夏から秋にかけて開催されるとのことであるが、当区としても開催状況や内容について関心度が高い。開催の日程等、スケジュールが決まり次第、速やかに情報提供いただきたい。

- ・ 国に寄せられた意見について、羽田新飛行経路の固定化回避に係る技術的方策検討会の検討状況についての問い合わせがあるとのことだが、こういった問い合わせに対して、どのような回答を行っているのか。

⇒問合せに対しては、これまでに過去5回開催した固定化回避検討会の資料や議事概要等をホームページに公表しており、それら資料に基づき、これまでに検討してきた内容についての説明や、ホームページのご案内等を行っている。今後の開催予定についての問合せについては、これまで各自治体へご案内しているものと同様、夏から秋にかけて開催予定と

いうことをお伝えしている。

- ・ 教室型の説明会について、議会からも要望が出ており、改めて開催の検討をお願いしたい。また、通常とは異なる運用であるゴーア라운드等がなされているということについて、区民の方に丁寧な説明を実施頂くよう、ご検討いただきたい。

⇒これまでの会議でも同様の要望を頂いており、重く受け止めている。説明会についてはタイミングや内容を引き続き検討しており、然るべきタイミングで説明ができるよう、検討を続けていく。ゴーア라운드についても、丁寧な説明の中の一環として、引き続き検討を進めていく。

以上